社会資本総合整備計画　　事後評価書

計画の名称	1　宮城野原防災公園整備計画（防災・安全）												
計画の期間	平成３１年度　～　令和０５年度　(5年間)									重点配分対象の該当	○		
交付対象	宮城県												
計画の目標	東日本大震災の教訓を踏まえ，他県からの広域支援部隊のベースキャンプや支援物資の流通配給基地，域外搬送拠点となるスペース等が必要であることから，県内をカバーする広域防災拠点の整備を行い，次の大規模災害時に備える。 本整備計画においては，公園整備を実施する。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	8,173	A	8,173	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H30末）		（H35末）
1	救援・救助に向かう消防・警察の一時集結場所やベースキャンプ，ヘリポート等として，約15haを整備する。			
	広域防災拠点として，一時集結場所，ベースキャンプ，医療活動スペース，ヘリポート，荷捌きスペース，一時保管場所等，合計約15haを整備するもの。	0ha	ha	15ha

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000779799

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	R02	R03	R04	R05	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	宮城県	直接	宮城県	－	－	宮城野原広域防災拠点整備事業	広域防災拠点整備（約15ha）	仙台市	■	■	■	■	■	8,093	1.73	－
	A12-002	公園	一般	宮城県	直接	宮城県	－	－	宮城野原広域防災拠点整備事業（５か年防公）	広域防災拠点事業（約15ha）	仙台市		■				80	1.73	－
											小計						8,173		
											合計						8,173		

案件番号： 0000779799

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
宮城県事業担当課において、事業の進捗状況及び事業効果等を確認し、その結果を踏まえて今後の方針等を検討した。	令和６年４月
	公表の方法
	宮城県のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	広域防災拠点整備の前提となるJR貨物仙台貨物ターミナル駅の移転工事が公共補償により進められている段階であり、広域防災拠点整備には未着手。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	広域防災拠点整備に早期に着手すべく、県としても、JR貨物仙台貨物ターミナル駅移転に係る工程管理や関係機関協議等を支援し、移転工事が円滑に推進された。

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、広域防災拠点整備の前提となる、JR貨物仙台貨物ターミナル駅の移転工事の推進を支援する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	広域防災拠点整備面積		
	最　終 目標値	15ha	令和５年度末時点では、広域防災拠点整備の前提となる、JR貨物仙台貨物ターミナル駅の移転工事が公共補償により進められている段階である。
	最　終 実績値	0ha	

案件番号：0000779799